



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月30日

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7022 URL <https://www.sanoyas.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 賢二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 福井 直也 (TEL) 06-4803-6171
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,551	16.3	△242	—	△191	—	△114	—
2026年3月期第1四半期	4,775	1.2	△399	—	△301	—	△315	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 109百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △378百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△3.43	—
2026年3月期第1四半期	△9.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	32,961	12,309	37.2
2026年3月期	34,064	12,479	36.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 12,276百万円 2026年3月期 12,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	11.8	1,000	△40.3	1,000	△39.4	800	△44.0	23.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	33,977,282株	2026年3月期	33,977,282株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	552,119株	2026年3月期	440,820株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	33,497,099株	2026年3月期1Q	33,225,134株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2026年3月期)	当第1四半期 (2027年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	4,775	5,551	776	16.3
営業損失(△)	△399	△242	156	—
経常損失(△)	△301	△191	109	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△315	△114	200	—

売上高は、製造業向けセグメントにおいて前年度6月にグループ入りした(株)小寺電子製作所の売上高が寄与したことに加え、建設業向けセグメントにおいて空調・給排水・衛生設備の設計及び施工が好調に推移したこと、機械式駐車装置の製造及びメンテナンスが前期から引き続いて好調を維持したことにより増収となりました。

営業利益は、事業の特性上、第1四半期は売上高の計上が少ないため固定費を賄い切れず例年通り損失を計上したものの、売上高の増収に伴い前年同期比で増益となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2026年3月期)	当第1四半期 (2027年3月期)	増減額	増減率 (%)
受注高	6,079	7,329	1,249	20.6
受注残高	14,922	21,820	6,898	46.2

受注高は、製造業向けセグメントにおいて乳化・攪拌装置の製造や純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工が堅調に推移したことに加え、建設業向けセグメントにおいて大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造で複数の大口案件を受注した結果、前年同期比で増加しました。

受注残高は、建設業向けセグメント全体において前年度以降高水準の受注が継続していることに加え、レジャーセグメントにおいて前年度第2四半期に複数の大口案件を受注したことから、前年同期比で大幅に増加しました。

セグメント区分

	製造業向け セグメント	建設業向け セグメント	レジャー セグメント
サノヤス・エンジニアリング(株) 機械式駐車装置の製造及びメンテナンス ショットブラストマシンの製造及びメンテナンス 建設工事用エレベーターの製造及びレンタル	○	○ ○	
サノヤス精密工業(株) 各種産業機械部品の製造及び組立 農機及び特装自動車用部品の製造及び組立	○ ○		
みづほ工業(株)、美之賀機械(無錫)有限公司 乳化・攪拌装置の製造 純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工 大型食品タンク等各種タンクの設計及び施工	○ ○ ○		
(株)小寺電子製作所 全自動電線切断皮剥装置・全自動圧着機等の設計、製造、販売	○		
サノヤス・エンテック(株) 空調・給排水・衛生設備の設計及び施工 環境装置の製造及びメンテナンス 医療廃棄物処理装置の製造及びメンテナンス	○ ○	○	

	製造業向け セグメント	建設業向け セグメント	レジャー セグメント
ハピネスデンキ(株) 大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造 及び電気工事		○	
松栄電機(株)、松栄電気システムコントロール(株) 通信インフラ向け配電盤・分電盤等の製造		○	
(株)ヤマガタ共同 各種制御盤・操作盤等の製造販売		○	
サノヤス・ライド(株)、サノヤス・ライドサービス(株) 遊園地遊戯機械設備の製造及びメンテナンス 遊園地施設の運営管理の受託			○ ○

(製造業向けセグメント)

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2026年3月期)	当第1四半期 (2027年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	1,734	1,967	232	13.4
営業利益又は 営業損失(△)	△55	26	81	—
受注高	1,501	2,404	903	60.2
受注残高	5,096	5,460	363	7.1

売上高は、前年度6月にグループ入りした(株)小寺電子製作所の売上高が寄与したこと、各種産業機械部品の製造及び組立が好調であったことから増収となりました。営業利益は、各種産業機械部品の製造及び組立の増収に伴い増益となりました。

受注高は、乳化・攪拌装置の製造や純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工の受注が堅調で前年同期比で大幅に増加、それに伴い受注残高も増加しました。

(建設業向けセグメント)

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2026年3月期)	当第1四半期 (2027年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	2,385	2,790	405	17.0
営業利益	16	84	67	406.9
受注高	3,875	4,033	157	4.1
受注残高	8,979	11,227	2,248	25.0

売上高・営業利益は、空調・給排水・衛生設備の設計及び施工や機械式駐車装置の製造及びメンテナンス、通信インフラ向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造が好調に推移した結果、増収増益となりました。

受注高は、大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造で複数の大口案件を受注したことから前年同期比で増加しました。受注残高は同セグメント全体において前年度以降好調な受注が継続されていることから前年同期比で大幅に増加し、高水準を維持しています。

(レジャーセグメント)

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2026年3月期)	当第1四半期 (2027年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	655	793	138	21.1
営業利益	87	115	28	32.9
受注高	702	891	188	26.8
受注残高	846	5,133	4,286	506.5

売上高・営業利益は、遊園地遊戯機械設備の製造及びメンテナンスが堅調に推移したことから増収増益となりました。

受注高は、遊園地遊戯機械設備の製造及びメンテナンスの受注が堅調で前年同期比で増加、受注残高は、前年度第2四半期に複数の大口遊園地遊戯機械設備を受注したことにより大幅に増加しました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	前会計年度	当第1四半期	増減額	主な増減理由
流動資産	14,821	13,429	△1,392	仕掛品 830 前渡金 227 売掛金 △1,950 電子記録債権 △436
固定資産	19,242	19,531	288	のれん △73 投資有価証券 339
流動負債	12,423	11,970	△452	電子記録債務 142 賞与引当金 △334 未払法人税等 △272
固定負債	9,162	8,680	△481	長期借入金 △428
純資産	12,479	12,309	△169	その他有価証券評価差額金 222 利益剰余金 △366

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点においては2026年5月12日に公表した数値を見直ししておりません。

(今後の当社グループの業績におけるリスク要因)

- ・地政学リスク等による部品・部材調達の遅れや原材料価格の上昇が当社の業績全体に影響を与えるリスク
- ・天候不順や各種災害、インフルエンザ等感染症の流行がレジャーセグメントの事業環境悪化を招くリスク
- ・金利上昇による有利子負債の支払利息増加により、金融収支が悪化するリスク
- ・台風や地震等自然災害が当社や協力会社などのサプライチェーン及び顧客の経営に与えるリスク
- ・グローバル経済の減速が顧客の業況悪化を招き、設備投資意欲が減退する影響やトランプ関税による日本経済への影響が間接的に当社受注を減少させるリスク

今後、こうした要因を含め、通期業績予想の修正開示が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,346	2,387
受取手形	58	29
売掛金	4,177	2,226
契約資産	1,479	1,317
電子記録債権	1,207	770
商品及び製品	527	451
仕掛品	1,918	2,749
原材料及び貯蔵品	1,438	1,492
前渡金	651	878
その他	1,032	1,137
貸倒引当金	△16	△12
流動資産合計	14,821	13,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,306	7,287
減価償却累計額	△4,298	△4,318
建物及び構築物（純額）	3,007	2,968
機械、運搬具及び工具器具備品	16,001	15,832
減価償却累計額	△13,497	△13,540
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	2,504	2,291
土地	3,062	3,062
建設仮勘定	523	825
有形固定資産合計	9,097	9,147
無形固定資産		
ソフトウェア	511	491
ソフトウェア仮勘定	49	72
のれん	2,278	2,204
その他	8	8
無形固定資産合計	2,847	2,776
投資その他の資産		
投資有価証券	6,265	6,604
繰延税金資産	448	428
退職給付に係る資産	292	290
その他	329	321
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	7,298	7,607
固定資産合計	19,242	19,531
資産合計	34,064	32,961

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,623	1,715
電子記録債務	1,396	1,538
短期借入金	2,850	2,850
1年内返済予定の長期借入金	2,045	1,945
未払法人税等	301	28
契約負債	2,277	2,280
賞与引当金	547	213
保証工事引当金	91	93
受注工事損失引当金	9	1
解体撤去引当金	—	0
リース債務	153	125
その他	1,125	1,178
流動負債合計	12,423	11,970
固定負債		
長期借入金	5,442	5,013
リース債務	59	46
繰延税金負債	1,479	1,470
退職給付に係る負債	1,774	1,801
資産除去債務	312	309
その他	93	39
固定負債合計	9,162	8,680
負債合計	21,585	20,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	73	73
資本剰余金	2,660	2,660
利益剰余金	6,170	5,804
自己株式	△100	△127
株主資本合計	8,804	8,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,171	3,393
繰延ヘッジ損益	100	102
為替換算調整勘定	141	161
退職給付に係る調整累計額	228	209
その他の包括利益累計額合計	3,642	3,866
新株予約権	32	32
純資産合計	12,479	12,309
負債純資産合計	34,064	32,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,775	5,551
売上原価	3,671	4,156
売上総利益	1,103	1,395
販売費及び一般管理費	1,503	1,638
営業損失(△)	△399	△242
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	100	90
その他	37	17
営業外収益合計	140	110
営業外費用		
支払利息	41	42
為替差損	—	8
その他	1	8
営業外費用合計	42	59
経常損失(△)	△301	△191
特別損失		
固定資産撤去費用	—	13
特別損失合計	—	13
税金等調整前四半期純損失(△)	△301	△205
法人税、住民税及び事業税	14	11
法人税等調整額	△0	△102
法人税等合計	13	△90
四半期純損失(△)	△315	△114
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△315	△114

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△315	△114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	222
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	△26	19
退職給付に係る調整額	△16	△19
その他の包括利益合計	△63	224
四半期包括利益	△378	109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△378	109
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
 なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	204百万円	189百万円
のれんの償却額	39百万円	73百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	1,673	987	580	3,240	—	3,240
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	61	1,398	75	1,534	—	1,534
顧客との契約から生じる 収益	1,734	2,385	655	4,775	—	4,775
外部顧客への売上高	1,734	2,385	655	4,775	—	4,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,734	2,385	655	4,775	—	4,775
セグメント利益又は 損失(△)	△55	16	87	48	△448	△399

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△448百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△453百万円、
 セグメント間取引消去5百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	1,953	942	641	3,537	—	3,537
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	13	1,848	152	2,013	—	2,013
顧客との契約から生じる 収益	1,967	2,790	793	5,551	—	5,551
外部顧客への売上高	1,967	2,790	793	5,551	—	5,551
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,967	2,790	793	5,551	—	5,551
セグメント利益	26	84	115	226	△469	△242

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△469百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△487百万円、貸倒引当金の調整額0百万円及びセグメント間取引消去17百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2026年5月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元と資本効率の向上を図ることを目的としております。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|------------------------------|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 250,000株(上限とする) |
| | 発行済株式総数(自己株式除く)に対する割合 0.75% |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 50百万円(上限とする) |
| (4) 取得期間 | 2026年5月13日～2026年7月31日 |
| (5) 取得方法 | 自己株式取得に係る取引一任勘定取引契約に基づく市場買付け |

3. 取得の状況

上記、市場買付けによる取得の結果、2026年5月13日から2026年7月24日までに当社普通株式136,900株(取得価額44百万円)を取得しております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2026年7月31日を終了予定としております。